

「企業の社会的責任報告書（CSRレポート）」2006年度版を発行

従来の「社会環境報告書」から名称を変更し、さらなる内容の充実を図りました

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）では、このたび「企業の社会的責任報告書（CSRレポート）」2006年度版を発行しました。

当社では2000年から「環境報告書」の発行を開始し、2004年には「社会環境報告書」に名称を変更し内容の充実を図ってきましたが、企業の社会的責任への関心が一層高まっていることなどを踏まえ、2006年度版からは名称を「企業の社会的責任報告書（CSRレポート）」に変更し、企業の社会的責任に関する内容についてさらなる充実を図りました。

今回の報告書では、従来から紹介しているCSRに対する基本姿勢や環境活動に加え、当社のすべての事業の根幹である「安全」への取り組みについて詳しく紹介しています。また当社と社会とのかかわりについて、お客さま、取引先、株主などステークホルダー別にまとめ、掲載しています。

このほか、第三者意見として株式会社環境管理会計研究所による社会・環境経営評価意見書や、新日本インテグリティアシュアランス株式会社による、今回の報告書に対するコメントなどを掲載しています。

「企業の社会的責任報告書（CSRレポート）」2006年度版の概要は下記のとおりです。

「企業の社会的責任報告書（CSRレポート）」2006年度版の概要

サイズ A4判 68ページ

主な内容

- ・安全への取り組み
- ・CSRに対する基本姿勢（コーポレートガバナンスとCSR、コンプライアンスとリスクマネジメント、ステークホルダー・エンゲージメント）
- ・社会とのかかわり（お客さま、従業員、取引先、株主、地域社会それぞれと当社のかかわり）
- ・環境への取り組み（環境マネジメントシステム、目標と実績、環境会計ほか）
- ・トピック（人と環境にやさしい駅「元住吉駅」の紹介）
- ・第三者意見（株式会社環境管理会計研究所、新日本インテグリティアシュアランス株式会社）

以上